

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-



2022.06.16 13:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・田口・浦野・石井・杉万

| 1

- 議 題
- ①県知事杯（A 級代表選抜戦）についての進捗確認
 - ②KBA 杯（B 級代表選抜戦）についての進捗確認
 - ③企画書 【公益事業】神奈川県内の学校へのビリヤード台の設置活動について
 - 企画書 【公益事業】神奈川県内の青少年会館・センターへのビリヤード台の設置活動について
 - 企画書 【公益事業】神奈川県立スポーツセンターへのビリヤード台の設置活動について

① 県知事杯（A 級代表選抜戦）についての進捗確認

予選会場の決定について

メッカ横浜、プールラボ、アロウズ、ミッドナイトに打診し、このうち、プールラボ、ミッドナイトは快諾

アロウズはもし会場が見つからなければ協力するという返事だった。 → **安藤**

予選 10 先にするると 1 時間程度終了時間が遅くなる見込み。会場には事前に話をしておいた方が良い

→ **崎村**

会場を借りる金額については、昨年と同様とした方がよい。他の試合と同様の金額になるようにした方がよい

→ **崎村、杉万、板橋**

プールラボとミッドナイトに 1,400 円/人にて交渉する。 → **安藤**

話がまとまれば、この 2 店舗で予選会場を確定とする。 → **承認**

予選セット数と決勝セット数、エントリーフィ変更の議論について

予選 10 先、決勝 8 先（ベスト 16～）について、園山さんは KPBA に 6 / 18（日）に確認するが概ね問題無いと考えている。 → **石井**

三浦さん、幸さんはセット数が増えれば競技者は嬉しいと感じるし、グランプリと同様のセット方式に合わせていくなら問題ないと考えている。金額が 1,000 円増える事により不満を感じる人はいないと考えている。

→ **安藤**

園山さんの確認が済んで問題なければ、予選 10 先、決勝 8 先、エントリーフィ 7,000 円で決定する。

→ **承認**

試合フォーマットについて

A 級と B 級を分け隔てなく、同じ扱いにしてほしい。（抽選方式、運営の仕方、セレモニーなど） → **崎村**

協賛について

ADAM、ニューアートに関しては担当石井、インフィニティーバランスに関しては担当安藤で決定する。

→ **承認**

② KBA 杯（B 級代表選抜戦）についての進捗確認

① と同様に担当を割り振る。詳細の進捗は割愛

③ 企画書

【公益事業】神奈川県和学校へのビリヤード台の設置活動について

【公益事業】神奈川県青少年会館・センターへのビリヤード台の設置活動について

【公益事業】神奈川県立スポーツセンターへのビリヤード台の設置活動について

学校について

私立と公立で決済方法が異なる。私立は校長先生。公立は教育委員会となっている。窓口はこれから調査して話を進めていきたい。 → **石井**

協会加盟店舗に問合せをして、学校の先生がお客さんで来ていないか確認しアドバイスをもらう方が良い。

→ **崎村**

県立スポーツセンターへの設置は、体協に加盟していることが必須など、なにか制約があるはず。簡単に設置することができないのでは？と考える → **崎村**

ビリヤード台の設置が目的ではなく、ビリヤードをする人を増やすことが目的。設置だけでは公益活動ではない。よって、マナー、ルールなど丁寧な説明、ゲームの楽しみ方の指導を今後は定期的にしていき、ビリヤードをメジャーにしていくことが大切。講師派遣を含めて検討して欲しい。 → **板橋** → **承認**

本年度 3 台の設置を目標とする。県立スポーツセンターへの設置のハードルが高い様であれば、学校や青少年会館・センターの設置数を増やす。 → **承認**

その他について

人材をただ闇雲にふやすのではなくて適材適所で人を置き、ボランティアの人を組織化することが必要。

→ **杉万** → **承認**

総会や A-B-C チームバトルや新しい企画を実行するときに、コミュニケーション不足、連携ミス、認識の不一致が多すぎる。これは、口頭伝達が多すぎるのが原因と考えられる。これからも、同じ失敗を繰り返す事の無い様に、今後の企画については必ずドキュメントを残してほしい。 → **石井** → **承認**

以上